

キーワード	Y2	機器	Z3	天然ガス	S5	再生可能 E
					E25	はん用機械器具製造業

川崎重工業株式会社 / 川重冷熱工業株式会社

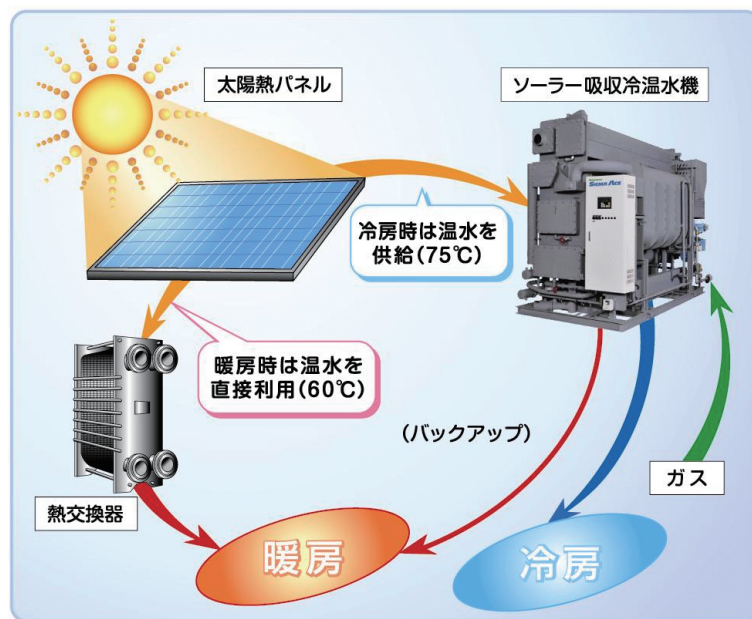
ソーラー吸収冷温水機

特徴

- 「フロン」を使わない空調熱源機
吸収冷温水機は「水」を冷媒としており、地球温暖化係数の高い「フロン」を使用しない製品です。
- 電力消費を抑える空調熱源機
吸収冷温水機は、ガスを燃焼させて冷水を作り出しますので、電力消費を大幅に削減できます。
- 太陽熱を冷房に有効利用
太陽熱を利用したシステムで、ガス燃料消費量を削減します。
- ソーラー温水回収下限温度を「75℃」まで可能にしました。
- 世界トップクラスの高効率COPでCO₂削減に貢献します。
- ソーラー温水のみならず、ガスエンジン・ガスタービン等の排熱利用にも適応可能



概要 or 原理

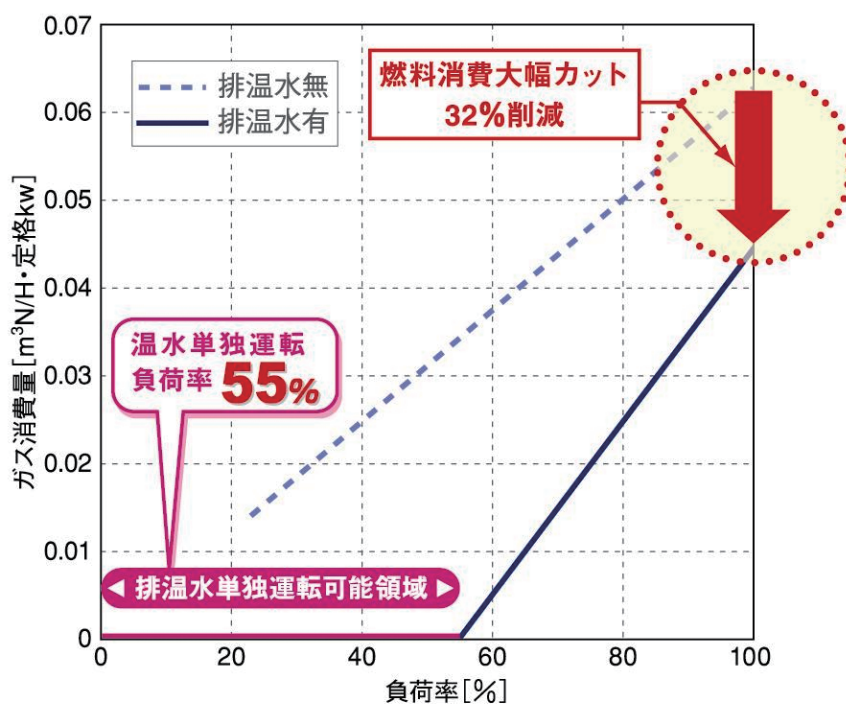


(ソーラークーリングシステム概念図)

- 太陽熱パネルにて温めた温水を吸収冷温水機に供給します。吸収冷温水機は、太陽熱を熱回収しソーラー温水と吸収液を熱交換させることで、ガス消費量を削減します。
- 冷温水機本体がバーナーを備えているため、太陽熱が不足する場合でもバックアップの必要がありません。また、太陽熱を優先的に利用する制御としているため、冷房負荷が少ないときは太陽熱のみで冷房運転が可能です。
- ソーラー温水専用に熱交換器を開発することで、ソーラー温水回収下限温度を「75℃」まで可能になりました。(従来の温水回収下限温度は「83℃」)
- 冬季の暖房は、ソーラー温水をそのまま暖房用温水として供給できます。

省エネ効果 & 特記事項

太陽熱を効果的に利用して、大幅な燃料削減ができます。



- 定格運転時の燃料消費量をベース機から「32%」削減します。(温水投入温度90℃の場合)
- 温水単独運転負荷率は、「55%」(温水投入温度90℃の場合)
EX.) 100RTの場合、55RTまでソーラー温水のみで運転します
- 太陽熱を組み込まない場合と比べ大幅にCO₂削減
- 電動機出力合計は、「4.85KW／180RTの場合」

導入実績または予定

- | | |
|----|----------------------------------------|
| 国内 | 主な納入先：一般ビル、ホテル、ショッピングセンター等
納入台数：13台 |
| 海外 | 2010年6月 販売開始 |

コンタクト先	川重冷熱工業株式会社 営業・サービス企画部 電話番号： 03-3615-5821 Fax 番号： 03-3615-5822 http://www.khi.co.jp/corp/kte/
--------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------